

## 大津市膳所駅周辺整備基本構想骨子

### 1. はじめに

- ・ JR膳所駅は、本市において、「(通称) バリアフリー新法」の基本方針により整備が必要な駅(乗降客数5千人/日以上)11駅のなかで、唯一、バリアフリー化されておらず、早急な整備が必要な駅である。
- ・ 膳所駅周辺は、駅北側(琵琶湖側)には大型商業施設や高層住宅、小中学校等を有し、駅南側(山手側)には病院、福祉施設や短期大学等を有するなど、様々な広域拠点施設や生活関連施設が集中的に立地している地域であり、都心市街地としての発展が期待されている地域である。
- ・ しかし、膳所駅周辺の公共公益施設等へのアクセスは、駅舎のバリアフリーが未整備であることや歩行者と車が混在する道路、狭小な駅前広場等、特に歩行者ネットワーク体系が脆弱であり、必ずしも高齢者や身体障害者など、交通弱者の安全で快適な移動が確保されていない状況である。
- ・ このような経緯を踏まえ、膳所駅の橋上駅舎化を中心とした周辺交通体系の整備の基本構想を策定するものである。

### 2. 調査委員会について

- ・ 大津市膳所駅周辺整備基本構想の策定に必要な種々意見を聴くため、委員会を設置し検討したものである。
- ・ 調査委員会の委員は、学識経験者、市議会議員、地域住民の代表、関係団体の構成員、国及び県の職員、公共交通事業者からなる19名で構成している。
- ・ 膳所駅周辺のバリアフリー、公共交通、土地利用に関することを中心に協議するため、ワーキンググループを設置した。
- ・ ワーキンググループのグループ員は、地域住民の代表、関係団体の構成員、国及び県の職員、公共交通事業者、土地所有者等から構成している。

### 3. 基本構想策定の流れおよび考え方

- ・ 膳所駅周辺の現状の整理として、交通量調査、市民アンケート等を実施した。
- ・ 大津市都市計画マスタープランを上位計画、大津市公共交通活性化実施計画、大津市地域公共交通総合連携計画を関連計画として位置づけた。
- ・ 過年度からJR西日本等と協議を行なっているJR膳所駅の橋上化整備を前提として基本構想策定を進めた。
- ・ 委員会およびワーキンググループを経て基本構想を策定した。

### 4. 膳所駅周辺の交通・まちづくり方針について

#### 1) まちづくりの視点

- ①安全に買い物や散策を楽しめる歩行者空間を確保する。
- ②高齢者や障害者、ベビーカーの親子など、誰もが安心して駅及び周辺施設を利用できる交通環境を確保する。
- ③地域の玄関口にふさわしい賑わいや交流を創出できる空間を確保する。

## 2) 整備に向けた取組方針

- ①まちづくりの目標を共有しつつ、短期的にできること、長期的に取り組むことを整理し、着実に整備を進める。
- ②地域住民、民間事業者、行政相互の対話を重視し、施設の整備、運営等に対する各関係機関の参画を得ながら整備を進める。

## 5. 基本構想について

### 1) 既に着手済み及び早期整備を進める事業

既に着手済み及び膳所駅の橋上駅舎化整備と併せて概ね10年以内に実施する事業は以下のとおりである。

- ①JR橋上駅舎化整備
  - ・平成24年度の工事着手に向け、大津市及び鉄道事業者との協働により、橋上駅舎の整備を推進する。
  - ・駅前広場からホームまでの円滑な移動の確保、安全性に配慮した駅空間の形成を図る。
- ②新南北自由通路の整備
  - ・橋上駅舎への連絡動線の確保のみならず、駅南北間の移動において自由度の高い動線となるよう、新南北自由通路の整備を推進する。
  - ・同時に既設の南北連絡通路と新南北自由通路をつなぐ歩行者動線の整備が必要である。
- ③京阪膳所駅のバリアフリー整備
  - ・京阪膳所駅における安全性・快適性確保への課題として、プラットホームと車両の隙間の解消や段差・急勾配の解消について対応が必要となる。
- ④北側駅前広場再整備
  - ・橋上駅舎・新南北自由通路の整備と合わせ、既設駅前広場の改良整備を行う必要がある。
- ⑤南側駅前広場整備
  - ・橋上駅舎・新南北自由通路の整備及び駅南側土地利用との整合を図りつつ、新規整備を行う。
  - ・駅前広場の配置検討及び施工方法（盛土、ボックス、デッキ）については、新南北自由通路との位置関係、駅南側の土地の有効高度利用等を勘案して決定していく必要がある。
- ⑥竜が丘横断歩道橋の整備（建設中）
  - ・国道1号の竜が丘交差点における歩行者の安全性を確保するため、現在横断歩道橋が建設中である。
  - ・平成21年度は、バリアフリーのためのエレベーター設置が予定されている。
- ⑦バリアフリー整備〔重点整備地区の位置づけ及び計画策定〕

- ・ 駅周辺地域を大津市バリアフリー基本構想における重点整備地区に位置づけ、優先的にバリアフリー化を図るルートの具体的イメージを示す。⑧ときめき坂の歩行者優先化に向けた計画検討及び社会実験

- ・ ときめき坂の歩行者優先化に向けた計画検討及び社会実験を行なうことにより、事業の具体化を推進する。

#### ⑨ 駅付近の敷地の整序化及び土地の有効高度利用

- ・ 低・未利用地が存在する駅南側地区について、敷地を整序化し、駅前広場等の都市施設整備に加え、市街地開発事業等の検討を行うことにより、市の広域拠点にふさわしい土地の有効高度利用を図る。

- ・ 橋上駅舎化後の現駅舎の跡地について、駅前における利便性の維持向上、賑わいの創出のため、新たな商業・サービス施設の導入を検討する。

### 2) 具体化に向け、引続き整理・検討を進める事業

1) の早期に事業を進める事業と並行して、継続的に整理・検討を進めていく事業は以下のとおりである。

- ・ JR橋上駅と京阪膳所駅とのデッキ接続
- ・ 駅南側における路線バス及びタクシーの充実
- ・ 現駐車場及び駐輪場の配置検討
- ・ バリアフリー整備〔主要経路の歩道改良等〕
- ・ ときめき坂の歩行者優先化
- ・ ときめき坂の歩行者優先化に伴う駅北側アクセス道路の整備
- ・ におの浜2丁目交差点の渋滞対策
- ・ 駅北側商店街の活性化に向けた施策展開

### 3) 関連事業

- ・ 近江大橋西詰交差点改良及び由美浜～西詰の6車線化（事業実施中）
- ・ なぎさ公園オープンカフェ（事業実施中）